FUJITSU

富士通株式会社

第117期 中間報告書

自 2016年4月1日　至 2016年9月30日

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに第117期中間期（自 2016年4月1日　至 2016年9月30日）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

代表取締役社長
田中達也

当社は、現在、将来の成長を目指して、事業の主力を「サービス」へと変革させようとしています。この変革を確かなものとするために、昨年10月に経営方針を発表し、その中で3つの「方向」を掲げています。

第一に、「つながるサービス」にフォーカスしたビジネスモデルに変えていくこと、第二に、ICTがもたらす「デジタルイノベーション」の可能性を追求していくこと、第三に、このサービスやイノベーティブなアプローチを「グローバル」に実行することです。これら3つのシナジーによるビジネスモデルの変革を実現することで、“全てがつながる”サービスによる市場への浸透を果たし、当社の課題である事業収益力を向上させることができると考えております。

現在、この3つの「方向」に沿って、様々な施策を実行に移しつつあり、本年10月には、経営方針について、この一年の成果ならびに今後の取り組みおよび見通しについて公表いたしました。この詳細につきましては、P3「経営方針について」をご参照ください。

このような取り組みの中で、当中間期における当社グループの連結業績は、P2「2016年度中間期の連結決算概要」のとおり、前年同期に比べ営業利益や当期利益が改善しましたが、これは、年初の計画に概ね沿ったものであることから、当中間期の配当は、年初の計画どおり1株当たり4円とさせていただきます。

今後も、さらに成長するために「形を変える」、「質を変える」変革を継続してまいります。「形を変える」ために、ビジネスモデル変革を引き続き行います。「質を変える」ために、「つながるサービス」を実現する先端テクノロジーの開発やサービス基盤の強化、デジタルソリューションの拡充を続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、倍旧のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2016年11月

2016年度業績見通し

（単位：億円）

	セグメント	2015年度実績	2016年度予想
売上収益	テクノロジーソリューション	32,833	31,400
	ユビキタスソリューション	10,409	9,850
	デバイスソリューション	6,039	5,500
	その他／消去又は全社	△ 1,888	△ 1,750
	合計	47,392	45,000
営業利益	テクノロジーソリューション	1,862	2,450
	ユビキタスソリューション	△ 76	210
	デバイスソリューション	303	△ 10
	その他／消去又は全社	△ 883	△ 1,450
	合計 [ビジネスモデル変革費用] （営業利益率）	1,206 [△ 415] （2.5%）	1,200 [△ 450] （2.7%）
当期利益		867	850

＊本報告書においては、親会社の所有者に帰属する当期利益を「当期利益」として表示しております。

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために